

PLAN(計画)

自己評価

事務事業
番号

23

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	乳幼児・学童歯科保健事業					
予算科目	4	款	1	項	6	目
予算事業名	歯の健康対策費					
総合計画での位置づけ	安心な子育て環境をつくる					
担当課	健康福祉課	担当課長	國寄 和幸			
事業担当者	上安 由里恵	一次評価者	持松 可奈子			
事業の性格	法定事務					
法令根拠等	健康増進法					
事業の対象	乳幼児から中学生					
事業の目的	乳幼児期からフッ化物を使い、むし歯になりにくい強い歯をつくとともに、ブラッシング指導を始めとした、歯の衛生教育を通して、生涯を通じて歯の健康状態を向上させる。					
実施期間	開始年度	平成 59 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	<乳幼児>集団教育、個別ブラッシング指導、歯科健診 <幼稚園・保育園・小学校>フッ化物洗口(週1回法)、ブラッシング指導、歯ブラシ配布 <中学校>ブラッシング指導、歯ブラシ配布 年1回、学校歯科医、九大歯学部、養護教諭、幼稚園、保育園、歯科衛生士と協議する場として歯科保健連絡会を開催している。					
目的達成の指標	12歳の永久歯の一人当たりむし歯保有数					
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32年度
	目標	本	1	0.5	0.5	0.5
	実績	本	0.58	0.57		
指標設定の考え方	久山町の歯の健康づくりの目標の一つに「12歳児の一人当たりむし歯保有数を0.5本以下に」と掲げているため。					
事業遂行時懸案事項等	最近、学童について、むし歯というよりも歯肉の炎症が多いという現状がある。むし歯の保有数は全体的に減少しているが、むし歯がある児とない児の2極化が課題となっている。 さらに保護者にも仕上げ磨きの必要性など情報提供を行っていく必要がある。					
事業実施時懸案事項対応等	フッ素はしっかりと歯磨きをしないと効果が十分に発揮できないなど、フッ素だけではむし歯予防は難しいといった正しい知識を理解してもらう必要がある。 また歯肉炎については、むし歯だけでなく、口腔全体をみていく必要がある。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 433 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算	32 年度予算
事務量	① 人工数	0.33	0.33	0.33
	② 人件費単価	7,381	7,350	7,196
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	2,435	2,425	2,374
事業費	直接事業費	1,472	1,457	1,457
	人件費	2,435	2,425	2,374
	合 計	3,907	3,882	3,831
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	3,907	3,882	3,831
	合 計	3,907	3,882	3,831

事業費計画

(千円)

区分/年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度
目 標	1,472	1,457	1,457	1,457	1,457
実 績	1,472	1,483			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
幼児歯科健診受診者数	人	290	300	300	300
		386	297		
フッ化物洗口実施者	人	820	750	750	750
		819	749		
乳幼児ブラッシング指導実施者数	人	220	180	180	180
		223	181		
学童ブラッシング指導実施者数	人	380	380	420	420
		387	420		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 436 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	29 年度決算	30 年度予算	30 年度決算	
事務量	① 人工数	0.33	0.33	0.33
	② 人件費単価	7,129	7,350	7,187
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	2,352	2,425	2,425
事業費	直接事業費	1,472	1,457	1,483
	人件費	2,352	2,425	2,425
	合 計	3,824	3,882	3,908
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	3,824	3,882	3,908
	合 計	3,824	3,882	3,908

実施備忘録

--

自己評価	評価者	上安 由里恵
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		A
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		A
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

乳幼児期から歯の健康づくりに取り組むことで、日常生活の中で習慣化し、成人期の歯の健康づくりにも繋がっている。健診やブラッシング指導で口腔環境を把握し、支援が必要な者については、保育園・幼稚園・小学校・中学校の先生方とも情報共有し、早期に支援できるようにしている。また子どもだけでなく保護者の理解も必要であると考え、仕上げ磨きの必要性についての講話や実技、チラシ配布を行った。子どもだけでなく、保護者に対する教育も行ったため、家族全員で歯の健康づくりに取り組むきっかけづくりになった。

さらに日頃から校医、教育委員会、養護教諭、保育園、幼稚園、九州大学歯学部、歯科衛生士と連携しており、年1回久山町の現状や課題について検討する場を設けているため、関係者全員が共通認識を持って事業に取り組むことができている。

また広報を使って、久山町の取り組みや現状を報告しているため、対象者以外にも久山町の歯の健康づくりについて周知することができる。

今後も関係者間で必要に応じて情報共有を行い、支援が必要な者に対し、ブラッシング指導等の機会为重点的に指導していく。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

久山町ではこれまで「12歳児の一人当たりむし歯本数を1本以下」を目標の一つに掲げていたが、平成22年より継続して達成できていたため、平成30年度から0.5本以下を目標として、歯科の健康づくりに取り組んでいる。平成29年度は0.58本、平成30年度は0.57本と目標を達成できなかったが、横ばいの状態を維持できている。

また久山町では乳幼児期から切れ目なく歯の健康づくりに取り組んでいるが、中学校卒業以降は介入が困難である。そのため中学生を対象に、歯の健康づくりについての取り組み状況を把握し、養護の先生と連携をとりながら、成人になっても歯の健康づくりに取り組めるようにしていく必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	持松 可奈子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

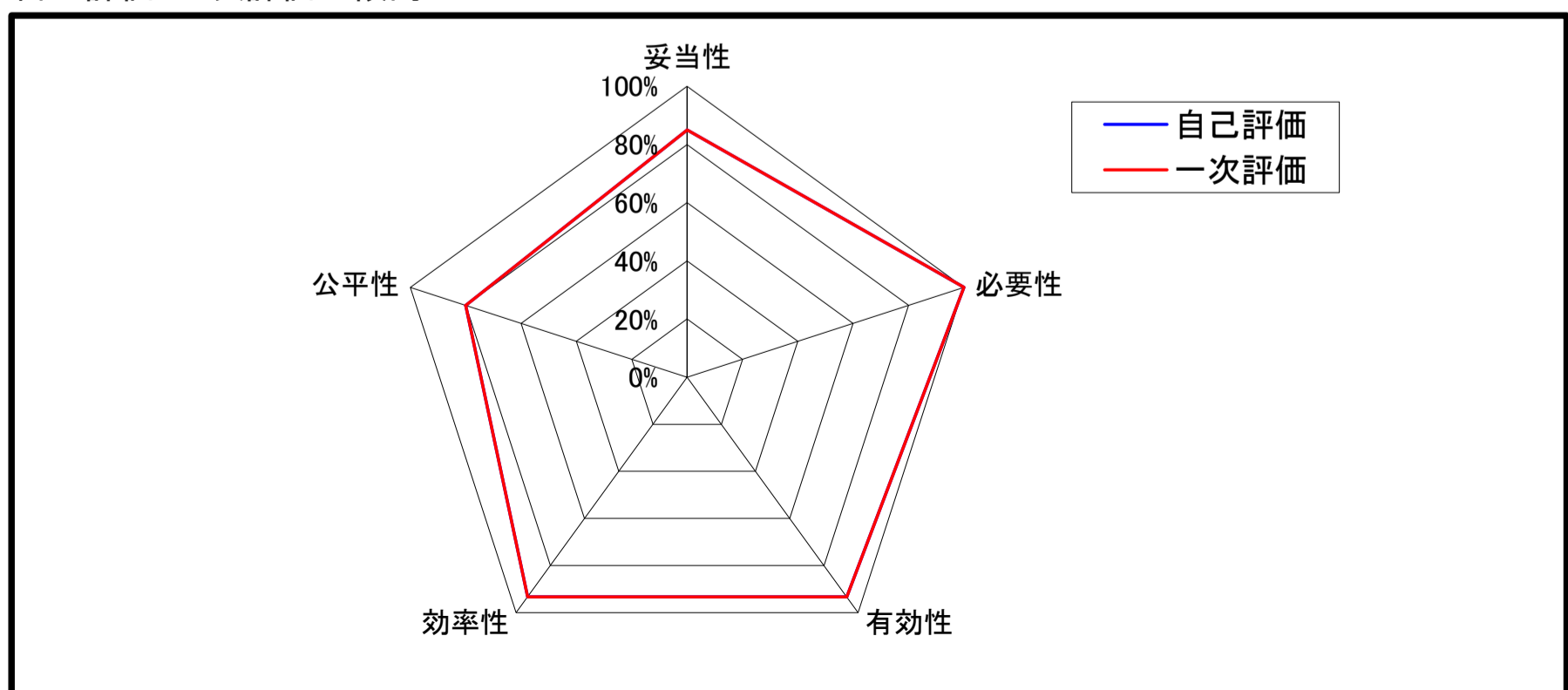
1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	5	A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

乳幼児期から中学校卒業まで歯の健康づくり事業に取り組んでおり、開業医、幼稚園、保育園、学校、教育委員会、九州大学と十分な連携を図ることができている。
中学校卒業以降の関わりが難しくなるため、生徒自らが口腔の健康管理ができるように、学校と連携して歯科健康教育等をすすめる必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	國寄 和幸
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

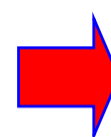
- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

子供の虫歯予防及び早期の治療につながっている。また、その後の歯の健康に対する意識付けにもなっていると考えられるので事業を継続していく。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
 月 日
 までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
 月 日
 開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

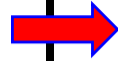
ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--